

日本学校薬剤師会

平成 24 年 3 月 1 日

# 日学薬だより

第 20 号

〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-3-1 富士・国保連ビル 8 階 発行責任者 田中俊昭

TEL 03-5368-6141 Fax 03-5368-6147

ホームページ <http://www.nichigakuyaku.org> Eメール [info@nichigakuyaku.org](mailto:info@nichigakuyaku.org)

## 平成 23 年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会開催報告



平成 23 年 11 月 24 日 (木)・25 日 (金) の 2 日間、長崎ブリックホールにて、平成 23 年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会が開催されました。

当日は、11 月の長崎としては非常に肌寒い日でありましたが、全国より約 400 名の方々にお集まりいただき、盛大に開催することができました。

初日、全体会が行われ、開会式後の講義 I では、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 健康教育企画室健康教育調査官 北垣邦彦調査官により『学校環境衛生基準』に基づく学校環境衛生活動の考え方・進め方」という演題で、健康的かつ安全で豊かな施設環境を確保することで児童生徒等の安心と安全を確保することを目的として、「校長の責務の明確化」・「学校内の体制の充実」や「養護教諭の役割」についての提言・小学校施設整備指針・放射線に関する保健指導の必要性等について詳細な話がありました。

午後からの講義 II では、北海道大学病院薬剤部副薬剤部長 笠師久美子先生より「スポーツにおける適正な薬物療法」～社会全体で支えるアンチ・ドーピング活動～という演題で、TUE (治療目的使用に係る除外措置) の申告の方法や身体的ハンディキャップ・特定疾患治療班研究事業対象疾患での具体例、遺伝子ドーピング等、実際の活動の経験から話がありました。

最後の特別講演では、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 中島憲一郎教授より「薬物乱用を追う: そのリスクと予知・予防」という演題で、警察から依頼され事件に研究者として関わった事例や長崎大学薬学部出身でノーベル化学賞を受賞された下村 脩先生の研究を応用した最新の微量薬物分析法の講演がありました。

2 日目は、4 つの部会別分科会に分かれ、現状や取組みについて発表 (~2~参照) が行われ、それぞれの立場から活発な質疑・応答が行われ、非常に充実した内容の濃い 2 日間の協議会でした。



## 《分科会報告》 ※発表者のみ掲載

### 第一分科会「学校環境衛生活動部会」

<発表 1>生徒が主体的に取り組む環境衛生活動

～日常点検から見えてきた問題～

山口県山口市小郡中学校 藤中 ゆかり氏

<発表 2>佐世保市学校薬剤師会の現在の活動について

～環境衛生でホルムアルデヒドを測定しての問題点～

佐世保市薬剤師会学校薬剤師部会 東島 照幸氏

### 第二分科会「医薬品に関する教育部会」

<発表 1>中学校保健分野の医薬品に関する授業実践

京都府京都市立洛北中学校教諭 上田 裕司氏

<発表 2>宮崎県薬剤師会健康教育推進委員会活動報告

～くすり教育をこどもたちのために～

宮崎県薬剤師会健康教育推進委員会 畑中 聡子氏

### 第三分科会「喫煙、飲酒及び薬物乱用防止教育部会」

<発表 1>小学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の実践

茨城県鹿嶋市立高松中学校養護教諭 関根 幸枝氏

<発表 2>長崎県下の小学校における薬物乱用防止教室の実態について

～学校薬剤師における積極的な参画を目標に～

長崎県薬剤師会理事 七嶋 和孝氏

### 第四分科会「学校保健委員会部会」

<発表 1>学校・家庭・地域が一体となって取り組む健康教育

～学校保健委員会の活動を通して～

長崎県雲仙市立神代小学校教諭 加古 千波氏

養護教諭 小田 かおり氏

<発表 2>学校薬剤師との連携

～薬剤師とは～

熊本県薬剤師会学校薬剤師委員会 伊集 智英氏

## ❖❖❖❖❖❖❖❖❖ 平成23年度 第4回常務理事会 ❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖

平成23年11月16日(水)日本薬剤師会8F第一会議室において開催された。

会長挨拶:

学校と学校薬剤師2011(赤本)販売状況 本日時点で、4500部以上販売

協議事項：

1. 日本薬剤師会との一体化案について  
田中会長の意見表明
  - (1) 公益社団法人日本薬剤師会学校薬剤師部会規則について
  - (2) 一体化スケジュール
  - (3) 負担金について（資料 各県負担金シミュレーション）
  - (4) 日本学校薬剤師会継続事業一覧、一体化に関する財務資料（たたき台）について
  - (5) 総務財務報告
    - ① 資産についての確認
    - ② 役員選任についての確認
    - ③ 来年度事業と委員の継続について
2. 会費納入状況について
  - (1) 東京都の納入金額申告について

報告事項：

1. 会務報告
2. 第4回総務財務委員会報告
3. 東海ブロック会議の日程について
4. 下半期予定の大幅な変更
5. 平成23年学校環境衛生・薬事衛生連絡協議会（11月24日～25日、長崎）参加募集
6. 全国養護教諭連絡協議会、日学保「医薬品に関する教育」保健指導者研修会を後援する。
7. ドーピング防止・健康教育推進委員会からの案内
  - ・「くすりの正しい使い方教育」及び「薬物乱用防止教育」ガイドライン
  - ・くすりリーフレット（中学生用）
8. 日学保からの放射線に関する研修会（静岡）の経費負担請求

❖❖❖❖❖❖❖❖❖**平成23年度 臨時第1回理事会**❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖

平成23年12月14日（水）日本薬剤師会8F会議室において開催された。

平成23年度臨時総会の変更

日時：平成24年3月16日（金）

場所：東京都港区ホテルアジュール竹芝

協議事項：

1. 日本薬剤師会との一体化案について
  - (1) 日薬との打ち合せ会の報告
    - ① 9月13日より現在まで4回開催。  
日学薬一田中会長、小川、佐藤、日高各副会長、豊見常務理事  
日薬一児玉会長、前田担当副会長、曾布川常務理事、藤垣理事
    - ② 公益社団法人日本薬剤師会学校薬剤師部会規則（案）の説明
  - (2) 規則（案）についての質疑応答



## ◆◆◆◆◆平成 23 年度日本学校薬剤師会全国会長連絡会◆◆◆◆◆

平成 24 年 1 月 25 日（水）日本薬剤師会 8F 会議室において開催された。

小川会長代行が、経過報告を含めて挨拶した後、児玉日本薬剤師会会長が来賓挨拶された。

現在までの事業報告（篠原常務）、財務報告（徳田常務）の後、豊見常務が日本薬剤師会との一体化について、理念、公益社団法人日本薬剤師会学校薬剤師部会規則（案）、負担金シミュレーション、学薬部会の具体的運営、今後の一体化のスケジュールについて説明をした。

その後、質疑応答を行った。

# 臨時ブロック会議報告

日本薬剤師会との一体化について、ブロックごとに、会議を開催した。

1. 北海道ブロック：12 月 17 日（土） 北農健保会館（札幌）
2. 東北ブロック：12 月 25 日（日） ホテルルイズ（盛岡）
3. 関東甲・東京ブロック：12 月 18 日（日） TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター（東京）
4. 北信越ブロック：12 月 18 日（日） 石川県薬剤師会館（金沢）
5. 東海ブロック：12 月 25 日（日） 名鉄グランドホテル（名古屋）
6. 近畿ブロック：12 月 18 日（日） 京都タワーホテル（京都）
7. 中国ブロック：12 月 17 日（土） 八丁堀シャンテ（広島）
8. 四国ブロック：11 月 24 日（木） 長崎ブリックホール（長崎）、  
※再度 1 月 8 日（日） 香川県薬剤師会館（香川）
9. 九州ブロック：12 月 24 日（土） 長崎県薬剤師会館（長崎）



## 委員会報告

※詳細については、ホームページをご覧ください。

### 講師バンク運営委員会

第 2 回 12 月 1 日（木）

- ① 講師バンク研修会について、② 講師バンク利用状況について、③ 講師バンク登録について、④ 講師バンクの活性化について、⑤ その他

### 災害対策マニュアル委員会

第 3 回 12 月 7 日（水）「学校薬剤師のための災害対策小冊子」作成ワーキング

第 4 回 2 月 2 日（木）「学校薬剤師のための災害対策小冊子」作成ワーキング

## 総務・財務委員会

第6回 12月14日(水)

### 【総務・財務】

- ① 会費納入状況確認、② 補正予算(案)確認、③ 日本学校薬剤師会全国会長連絡会について-1月25日(水)、④ 臨時総会について-3月16日(金)

### 【日本薬剤師会との一体化について】

- ① 12月13日(火) 日本薬剤師会との打ち合わせ会について、② 合併契約書について
- ③ 来年度事業について

第7回 1月12日(木)

### 【総務・財務】

- ① 会費納入状況確認、② 総務・財務関連スケジュール確認、③ 日本学校薬剤師会全国会長連絡会について、④ 臨時総会議案についての確認

### 【日本薬剤師会との一体化について】

- ① 1月11日(水) 日本薬剤師会との打ち合わせ会について報告確認、② 合併契約書についての状況報告、③ 各ブロック会議について、④ その他

第8回 1月25日(水)

### 【総務・財務】

- ① 全国会長連絡会について；最終確認、② 田中会長休職に関する事項

### 【日本薬剤師会との一体化について】

- ① 2月17日(金) 日本薬剤師会との打ち合わせ会について：各事項の確認
- ② 3月7日(水) 新幹事による打ち合わせ会について：スケジュールの確認

## 財務ワーキング

第1回 12月1日(木)

### 【1】日本薬剤師会との一体化に関する資産について税理士より助言

- ① 資産の整理について、② 契約書について、③ 事務局について、④ 継続事業について
- ⑤ その他

### 【2】財務について

- ① 補正予算について、② 暫定決算について
- ③ 暫定監査について：平成24年3月1日予定

## 日学薬だより発行委員会

第6回 12月21日(水)

- ① 「日学薬だより第20号」掲載内容 ② 「ラジオ放送要綱集」について編集・校正

第7回 1月26日(木)

- ① 「日学薬だより第20号」の編集 ② 「ラジオ放送要綱集」について編集・校正

第8回 2月13日(月)

- ① 「日学薬だより第20号」の校正

## 全国学校保健調査委員会

第1回 11月8日(火)、第2回 12月21日(水)、第3回 1月26日(木)

薬学の時間「学薬アワー」より（平成23年12月～平成24年2月）



「青少年の喫煙の害について」

日本学校薬剤師会常務理事 宮下 元樹

喫煙に対する国の施策は、厚生労働省の次期計画に、喫煙率削減の数値目標（喫煙者を4割近く減らす）が初めて明記されることになりました。計画は閣議決定され、国や自治体は目標達成の対策が義務づけられることとなります。

一方、未成年の喫煙については、平成16年調査において劇的な喫煙率の減少が認められましたが、喫煙の動機は「好奇心」や「何となく」が多く、たばこは自動販売機や小売店で容易に入手しています。未成年の喫煙行動は友人、親、兄弟、教師などの喫煙と密接な関係があり薬物乱用などのきっかけ、入り口となりうる危険性もあります。特に青少年の喫煙でやっかいなことは、未成年者、特に小・中学生でタバコを吸い始めると、成人から吸い始めた人に比べ ①禁煙の成功率が低い、②癌などの病気の発生が多い、③ヘビースモーカー（1日に吸うタバコの本数が多い）になりやすいなどがあり、今後より一層の啓発活動が極めて重要であります。



「くすり教育と薬害」

日本学校薬剤師会常務理事 西村 友男

平成24年4月から中学校において医薬品教育が始まります。学習指導要領に「医薬品は、正しく使用すること。」指導要領解説に、「医薬品には、主作用と副作用があることを理解できるようにする。医薬品には使用回数、使用時間、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて理解できるようにする。」と記載されている。平成25年度からの高等学校学習指導要領解説には、「医薬品には、医療用医薬品と一般用医薬品があること、承認制度により有効性や安全性が審査されていること、及び販売に規制があることを理解できるようにする。疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で使用方法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることを理解できるようにする。その際、副作用については、予期できるものと、予期することが困難なものがあることにも触れるようにする。」と記載されている。医薬品は、疾病の診断、治療または予防のために使用されるものと明確にしている。厚生労働省は、薬害再発防止のための医薬品行政等の見直しの一環として、「薬害ってなんだろう？」という教材を作成した。この教材は、「薬害」と呼ばれている医薬品等による健康被害を知るとともに、その発生の過程や社会的な動き等を学ぶことを通じて、今後、同様の被害が起こらない社会の仕組みの在り方等を考えることを目的として、中学校の社会科（公民分野）で活用されることを想定し、平成23年に配布されている。



2月

### 「学校薬剤師が知っておきたい環境衛生①」

日本学校薬剤師会常務理事 横田 勝司

平成 21 年 4 月から実施された学校保健安全法第 6 条で「学校環境衛生基準」(以下基準)が児童生徒等及び教職員の健康を保持する目的で定められた。この基準は、第 1 教室等の環境に係る基準、第 2 飲料水等の水質及び施設・設備に係る基準、第 3 学校の清潔、ネズミ、衛生害虫等及び教室等の備品管理に係る基準、第 4 水泳プールに係る基準、第 5 日常における環境衛生に係る基準、第 6 雑則(臨時検査)の 6 項目に分けられている。本放送では、第 1 教室等の環境に係る基準(◆換気及び保温等、◆採光及び照明、◆騒音)の 3 分野に関する主要な項目や関連した項目の測定意義、測定理由並びに特筆すべき点について詳細に解説したので、定期検査の際の参考としてください。

### 薬学の時間「学薬アワー」 平成 24 年 3 月～平成 24 年 4 月担当者一覧表(予定)

3月	「新教科書におけるタバコ、 飲酒、薬物について」	日本学校薬剤師会 常務理事 畑中 範子
4月	「学校薬剤師が知っておきたい 環境衛生②」	東北薬科大学名誉教授 横田 勝司

※パソコンでも聴けます。 <http://radio.jp> へアクセスして下さい。



### スマートフォンでラジオを聴こう！！

iPhone、iPad、iPod touch 用アプリのほか、Android 用アプリも利用可

- ①無料アプリをダウンロード
- ②エリアごとに聴取可能なラジオ局がでてきます。
- ③放送が流れてきます。



トップページに表示されているラジオ局名を選んで、「listen now!」をクリック！  
radiko プレーヤーが立ち上がり、お選びになったラジオ局の放送をお聴きになれます。



# 子どもを守ろうコーナー

## 「学校保健安全法と柔道」

平成 21 年 4 月 1 日「学校保健安全法」が施行され、学校薬剤師は、「学校環境衛生検査」の他に「健康相談」や「保健指導」への従事が追加、学校保健安全法第 27 条では、「学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全、児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなくてはならない」とあり、学校保健（安全）委員会での計画立案に、学校薬剤師は、積極的に参与することになっています。

学校薬剤師の立場としては、必要に応じて、臨時検査として、感染症や食中毒、風水害、新築や増改築での揮発性有機化合物等を行うこととなりますが、特に、災害時での水質管理、騒音、理科室・保健室の薬品、トイレの管理、消毒薬、手洗い、ゴミの処理方法や保管場所、排水の施設管理、衛生害虫、そして、こどもの心のケア、熱中症、放射性物質（放射能）、ハチ毒などにも対応していく必要があります。学校側としても連携をとりながら、実情に即した対応が求められます。

また、中学校で平成 24 年 4 月から我が国の伝統的な武道が必修化となり、中学 1、2 年生の男女が「柔道」、「剣道」、「相撲」の中から一つを選び、年間 13 時間ほどの授業を受けることによって、国際社会に通用する人材の育成を目指す。この武道の必修化を含む中学校学習指導要領の改訂は、文科省によって 2008 年 3 月に告知されたが、最近各種機関による選択調査で防具を必要とする剣道よりも手近な柔道を選択する学校や生徒が多いことが分かった。しかし、日本スポーツ振興センターや名古屋大学・内田准教授の調査資料によると柔道の死亡事故発生率は、その他のスポーツと比べて突出して高い（1983 年から 2010 年の 28 年間で 114 人）ことから、保護者や柔道指導者の間には不安の声もあり、学校薬剤師としては安全の立場から生徒等を注意深く見守っていく必要があります。

# コラム

## 「季節性の花粉症」

※樹木：ゴシック体 草花：明朝体

季節性アレルギー性鼻炎となるヒトは多く、その原因としてカビ、ダニ、綿ほこりなどを含むハウスダストや花粉などがあげられる。中でも季節性の花粉症は、さまざまな花粉によって鼻粘膜が刺激を受けて起こる通年性のアレルギー性鼻炎をいう。花粉症の特徴的な症状は、くしゃみ、鼻水、鼻つまり、目の痒み、涙、咳などである。この原因となる花粉には樹木と草花があり、春先のスギ、ヒノキ、ハンノキ、ハルガヤ、ホソムギ、ハルシオンなど、初夏のキョウチクトウ、イネ、カモガヤ、ヒメガマ、オオブタクサ、ブタクサなど、秋にはヨモギ、カナムグラなどの花粉が知られている。冬の花粉症は少ないが、スギやハンノキでは 1 月中旬～2 月はじめ頃に出現することから我が

国の花粉症の発生は通年性といえる。このような花粉アレルゲン（抗原）が体内に入ると IgE 抗体が作られ、肥満細胞の表面に結合することでヒスタミンなどの化学物質伝達物質の放出によって、くしゃみなどの花粉症状を示す。草花系花粉の飛散距離は短い、樹木系の花粉の飛散距離は非常に長いことから遠くへ運ばれる。従って花粉症の原因の多くは、スギなどの樹木系で占められているので、春先が最も注意を要する季節となります。ディーゼル排気微粒子（DEP）の暴露を受けた妊娠期・哺乳期のラット（動物実験）でスギ花粉症を引き起こしやすい体質になることやスギ花粉症患者の血液成分に DEP を添加すると花粉症の症状を発現・悪化させる物質が増加することが報告されている。さらに東京都や埼玉県等の県及びその大都市においてディーゼル微粒子除去装置（DPF）を装着しないディーゼル車の運行を禁止する措置がとられている。

花粉症の対策は、何といたっても花粉を体内に取り込まない（接触や吸い込み等）ことが、最大の予防法となります。温度、湿度、風速、天気、時間などから花粉の飛散度を推定した花粉情報の活用によって外出を控え、窓を閉めたりし、外出する時間帯を制限・調整し、メガネ、ゴーグル、マスク、ボウシなどの着用、外出後部屋に入る前には花粉を落とし、うがい、洗顔等を実施したいものです。



## 平成 24 年度行事予定

平成 24 年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会

平成 24 年 7 月 27 日（金）・28 日（土） 札幌プリンスホテル 国際館パミール

第 45 回日本薬剤師会学術大会

平成 24 年 10 月 7 日（日）・8 日（月・祝） アクアシティ浜松他

第 62 回全国学校保健研究大会

平成 24 年 11 月 8 日（木）・9 日（金） 熊本崇城大学市民ホール

第 62 回全国学校薬剤師大会

平成 24 年 11 月 8 日（木） 熊本ホテルキャッスル



日本学校薬剤師会 E メール [info@nichigakuyaku.org](mailto:info@nichigakuyaku.org)

TEL 03-5368-6141

FAX 03-5368-6147

ホームページ <http://www.nichigakuyaku.org/>

日本薬剤師会との一体化（予定）に伴い、「日学薬だより」は、今回で終了になります。4年間の永きに亘り、ご活用いただき、本当にありがとうございました。

（編集委員一同）